

# 就任の紹介 挨拶

会瀬学区内関係者異動、役員など変更がありましたのでご紹介いたします。

【敬称略】



会瀬小学校  
校長 宮田 浩昭

## 会瀬実践人の育成を考える

会瀬小学校の教育目標に「…未来を切り拓く実践人の育成」とあります。実践人とは「実際にやってみる人・行動を起こす人」という意味です。

会瀬の地域の皆様は、子供達と学校を想ってください。行動を起こしてください。方々ばかりで驚いています。全児童分のマスクを縫ってくださり、寄贈してくださいました。環境ボランティアで、桜の木を剪定してくださった方々：子供達が臨時休校でお休みでも、学校を想って行動してください。方々は、まさに学校教育目標に掲げる「実践人」そのものです。

子供達が目標とする「実践人」が身近にいる会瀬学区の子供達は幸せです。

理想や目標を、実践して成就させる「知的能力」として次の三つが挙げられます。

①課題を設定して達成に向けて取り組んでいく探究能力。

②チームとしての活動に参加、貢献する協同的なコミュニケーション能力。



会瀬小学校PTA  
会長 松本 賢吾

この度、PTA会長を務めさせていただくことになりました。

地域の皆様には、日頃から子どもたちの通学見守りや学校の環境美化活動など多岐にわたり温かいご支援を賜り心からお礼申し上げます。会瀬の恵まれた環境のもと、学校生活や地域行事を通して、子どもたちがより健やかに心豊かに成長していけるよう、学校の先生方、地域の皆様とともに、私たち保護者も一体となって関わっていききたいと思っております。今後ともご指導ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



子ども会育成連合会  
会長 加藤 至彦

この度、会瀬学区子ども会育成連合会会長を務めさせて頂く事になりました。日頃より地域の皆様には、子ども会活動にご理解ご支援を賜り、感謝申し上げます。子どもたちに良い経験、楽しい思い出が多くできるように、行事の企画や進行に取り組んでまいります。地域の皆さまには、これからも子どもたちを温かく見守って頂けるとうれしく思います。今後ともご指導ご協力を宜しくお願い申し上げます。

③自らの能力を自律的に増大させていく反省的な自己学習能力。…このような知的能力を、会瀬小学校では、生きて働く学力として育てていきたいと思っています。



会瀬小学校  
教頭 鈴木 京子

会瀬の地は、私にとって、家族との海水浴や、青少年の家での宿泊など、子どもの頃の楽しい思い出がたくさん詰まった場所です。この度、会瀬小学校に赴任し、地域のすばらしさを改めて実感しています。

これまで地域の方々にご挨拶をする度に、「頑張ってくださいね。」「何かあったら声をかけてくださいね。」「と温かい励ましの言葉をいただき、とても心強く感じています。会瀬小学校の子どもたちのために、子ども・保護者・地域・学校をつなぐ役目を果たしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 新任・役員紹介

- ・コミュニティ推進会 事務局長 小室 裕二
- ・交通安全防犯部 白土 孝信

## 表彰者

- ・清掃功労者 会瀬町2丁目 飯嶋 悦子
- ・公益財団法人茨城県青少年育成協会 指導的功労者 豊田 義幸

# ふるさと会瀬から

## 会瀬旧述 その六 港中産物

水戸藩主徳川光圀（1628～1700）は諸国の海産物を取り寄せて、藩内の漁業地に放流し漁業の振興を図った。会瀬浦に放流された海産物は7品であるが放流後約200年経てからの実情が書かれている。いずれも散乱してしまつたと記されているが、どのような経路で、どんな方法で原産地から輸送されたかは定かではない。

- 一 まだかアワビ 房州（千葉県）産 丸みをおびた大きなアワビ貝であるが、まれに見ることがあると記されている。現在のアワビはエゾアワビの稚貝を放流したもので、まだかアワビは姿を消したと思われる。
- 二 とこぶし 房州産 小さなアワビで小判より小さく川の尻（舟入川）先の磯で産する。
- と記されているが、会瀬では生息は確認されていない。
- 三 さざえ 房州産 天保年中、藩主徳川斉昭（1800～1860）も鎌倉から稚貝を求め放流したが水に合わず絶えた。二人の藩主の努力にもかかわらず会瀬には今もって、さざえは産しない。
- 四 きんこ（金児） 奥州金華山（宮城県）産 金色で小型の「なまこ」。

近年、初崎海岸の磯場で砂地に生息しているのを確認している。

- 五 海松（みる・みるめ・水松） 奥州仙台産 七夕磯にあると記されている。海藻であるが現存する「まつ藻」とは異なり、濃緑色の藻で絶えてしまつたようだ。



会瀬青少年の家  
所長 小川 剛史

日頃から地域の皆様には、会瀬青少年の家の運営に協力していただき感謝申し上げます。

この度、縁あつて四月から勤務することとなりました、小川剛史です。

市役所の土木職員として三月まで務めてまいりましたので、施設管理は初めての経験ですが、皆様のご指導・ご協力によりまして、心身ともに健全な青少年を育成する社会教育施設として、更なる利用促進のため、精一杯努めて参ります。前所長と変わらぬご支援をお願いいたします。



おおせ保育園  
園長 樫村 英子

2階のテラスから見える会瀬の海が大好きで、心地良い風にホッとする時間…。若い時に勤務していた頃を懐かしく思い出しています。4月から、園長として二度目のおおせ保育園勤務となり、76名の元気な子どもたちと過ごせることを嬉しく思っています。職員一同いつも笑顔で、子どもたちに寄り添い見守っていききたいと思えます。

地域の皆様には、今後とも保育園に対しましてご理解ご支援をお願いいたします。

六 こんぶ（昆布） 松前（北海道）産 放流したが絶えて見られないと記されている。近年、川尻港内でホソメコンブがみられ、南限地とされている。

七 経のひも（海大豆） どの海産物か、どのようなものなのか記されていない。ひも状の海藻で、会瀬で食料としたものに「ウミノウメン」があつた。

## サロン虹

### 頑張りましたマスク作り、573枚

サロン虹の皆さん、お疲れ様でした。2月末からマスクが店頭から消え、コロナ対策にマスクが必要、サロン虹の仲間間でボランティア活動の声が上ががり、会瀬小の児童、教職員に312枚、会瀬地区独居高齢者におひとり2枚、日立市高齢福祉課から依頼された分と、合わせて合計573枚、マスクを作りました。布類や材料を持ち寄り、みんなで分担作業で作りました。4月一ヶ月のサロン虹の活動でした。



皆川代表から  
須田会長へ

メンバーから  
↓ 関係者へ



作成者のサロン  
「虹」の皆さん